

登校拒否・不登校問題

「第15回全国のつどい in 埼玉」

実行委員会ニュース NO.6



第15回全国のつどい in 埼玉実行委員会事務局発行

【事務局連絡先】さいたま教育文化研究所

〒330-0063

さいたま市浦和区高砂 3-12-24 埼玉教育会館 6階

事務局直通電話 090-5797-2651(平日13時~19時)・FAX 048-834-3167

電子メール : tsudoj@tsuyukusa.sakura.ne.jp

URL : <http://tsuyukusa.sakura.ne.jp/>



「第15回全国のつどい in 埼玉」に 583名が参加！

皆さん、本当にありがとうございました！！

第15回登校拒否・不登校問題全国のつどい in 埼玉

実行委員長 馬場久志

秩父のつどいが終わってはや半月、まだ全然さめやらぬ思いに満ちています。

迷う気持ちを振り切って初めて参加された方も、何となく勤められて来られた方も、また一年間この時を待ち続けた方も、それぞれの思いでつどい、それぞれの仕方でも2日間を過ごされたことと思います。大した宣伝手段ももたない私たちの開催要項を受け止め参加された500人を超える皆さんと、今回は参加に至らなかったけれど有形無形の共感をお持ちくださった方々に、心から御礼申し上げます。やっと話を聞いてもらえる場を見つけたという方、黙々と耳を傾けてくれた方、聞いていたら自分も話したくなったという方、重い現実打ちのめされた方、...それぞれがさまざまに感じ、決してありきたりの解決法が見つかるのではないけれど、でもわかってくれる人はいる、もうちょっとやってみようか、今回のつどいがそんな気持ちを得られるひとときだったらなあと思っています。

実行委員会は、このつどいを迎えるまで、本当に一生懸命やってきました。はるばる参加される方々のことを精一杯想像しながら、一つのことを決めるたびに考え、悩み、時には激

しくやり合いながら、一歩ずつ進んで来ました。毎年こんな風に苦労してつくってきたんだねえと、しみじみ語ったものです。

ドキドキしながら迎えた当日でしたが、皆さんとの充実した2日間を過ごし、分科会の様子やつどい全体に満ちた雰囲気が伝わってくるにつけて、やってよかったなあというのが実感です。はじめのつどいで、参加した皆さんと一緒につくと申しましたが、本当につどいはそういうところなんだなあ、現実には学ぶ思いをしました。参加してともにつどいをつくってくださった皆さん、本当にありがとうございました。

しかし…。そうしてつどいを終えた3日後のこと。数値が好きなわが埼玉県行政のトップは広報紙で、不登校児の「出現率」を半減させた市町のことを得々と述べました。いわく「学校関係者が相当の努力をされた」「担任の先生が家庭に出向き、説得を」だそうです。その陰でどれだけの親子が気持ちを踏みにじられ、教員が追い詰められたのか…。数値を扱う研究者の端くれとして、その考察の浅はかさには赤面するほど恥ずかしく、また怒りを覚えます。私たちの道のりはまだまだ長そうです。手を取り合い、励まし合っていきましょう。私たちだけでなく、すべての子どもたちとおとなたちの幸せを求めて。

来年は佐世保でお会いしましょう。



今後の実行委員会・事務局会議の日程

< 拡大事務局会議のご案内 >

10月3日(日)

コミュニティセンターいわつき
3階 会議室AB

13時30分～17時

(東武野田線 岩槻駅下車 徒歩5分)

さいたま市岩槻区本町1-10-7

TEL048-758-1980

(会場へのアクセス)

- 東京駅 ⇒ JR 京浜東北線で赤羽駅 ⇒ JR 高崎線・宇都宮線で大宮駅 ⇒ 東武野田線で岩槻駅
- 羽田空港 ⇒ 京急空港線で品川駅(又は丸の内線で浜松町駅) ⇒ JR 京浜東北線で赤羽駅 ⇒ JR 高崎線・宇都宮線で大宮駅 ⇒ 東武野田線で岩槻駅
- 東北自動車道 岩槻加倉インター ⇒ 国道16号線 岩槻駅入口を左折 ⇒ 岩槻駅前 ※駐車場(42台)は無料ですが、なるべく公共の交通機関をご利用下さい。



<最終実行委員会のご案内>

10月24日(日)

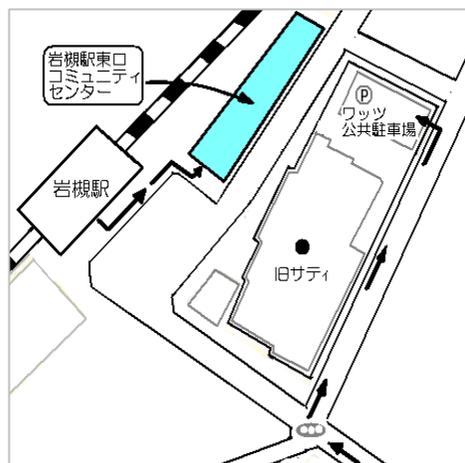
岩槻駅東口コミュニティーセンター
3階 ワツルームA

13時30分～17時

(東武野田線岩槻駅下車 左手すぐ)

さいたま市岩槻区本町3-1-1

TEL048-758-6500



※駐車場はコミュニティーセンター手前の「WATSU公共駐車場」が利用できます。

30分まで無料、以降30分毎100円。

マルエツで2000円以上買物で2時間無料サービスあり。

♪両日とも終了後、岩槻駅前「魚民」にて、交流会があります。(3500円) 交流会からの参加も大歓迎!



登校拒否・不登校問題全国連絡会へのお誘い

すべての子どもたちが、生き生きと自立へと向かって成長できることを願い、ひとりぼっちで悩む親や教師がなくなるように…と、95年に全国連絡会ができました。ニュースレターでの交流や、「全国をつどい」などで交流をしています。ご入会されたい方、詳しく知りたい方は、実行委員会もしくはつどい事務局までお問い合わせください。

<つどい参加者の感想より>

* 記念講演♪ 「私は私でいたい～命の光を輝かせるために～」松崎運之助さん



幸せになるために勉強する
でも1人で幸せになれないこと、
人の心配をすることで感動の大金持ち
になれる、ステキな言葉です。

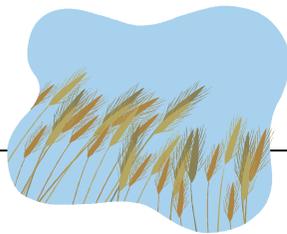
(埼玉：父母)

私も教員でした。でも松崎先生のようにはなかなか生徒たちの思いを、ゆとりをもって受けとめることができませんでした。松崎先生は本物だなと思いました。

私はどこかで妥協とごまかしのある教師人生であったような気がします。自分の子供が小学校でいじめられている時もほんとうに彼の味方になりきれなかった。どこかで世間体を気にする自分がいましたから。本当に勉強になりました。ありがとうございました。(埼玉：元教職員)

* 基礎講座1(家庭で)♪

とてもおもしろく聞きました。
共依存をせず、共に生きるとは…ということももう少し深く聞いてみたいと思いました。
来年もきたいです。
大会場のタイトルとってもステキでした。
ありがとうございました。(東京：その他)



* 基礎講座2(学校で)♪

居場所づくりというのは苦しみをとりのぞくことでもなく、
安心を持たせるということではなく、どんな困難があってもだれかが見ていてくれると 実感できる場所、そこには人がいるということ。参考にしていきます。

(埼玉：元教職員)

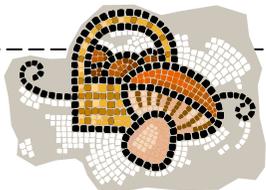
不登校の生徒に
いろいろなきつい質問を
してしまったなと痛感した
時間になりました。



* ①小学生の登校拒否・不登校♪

2日間濃密な時間、空間を共用できたことが幸せでした。みんなでつくるのが「つどい」だとあらためて感じます。不安そうな顔で参加された方が明るい顔になられたり、黙っておられた方が自らを語られたり、それぞれの心境の変化がうかがえ「つどい」の力のすごさを感じます。

(大阪：父母)



* ②中学生の登校拒否・不登校♪

親の方の子供を思う気持ち、愛情にとても感動しました。みんながそれぞれいろいろな気持ち、悩みをかかえているんだと思って話を聞くことで私自身も、すごく活力をもらえました。(千葉：青年)



* ③高校生の登校拒否・不登校♪

「高校生のー」テーマに引きつけられて入りました。部屋で輪になって、体験をして我が子の育ちに確信を得た人々が、司会で部屋に展望の空気がありました。学び合える、語り合えると思いました。切実に今の我が娘を語る母の父の場がここにあってよかった。(埼玉：元教職員)

2回目の参加ですけどやっぱりつどいはいやされるな。

(大阪)

発言をほめてもらえてうれしかった。

(東京：高校生)

子供はいつも親を見ていてくれること、家族の一員であり、なにかに役にたっていたい気持ち、学校にいなくても自分を大切に、いまの毎日をなんとなくすごしてくれるように子供の今のグレーゾーンをいっしょにすごしたいと思います。気持ちがかかる気がしました。

(東京：父母)

* ④障がいがある(かもしれない)子どもの登校拒否・不登校♪

全国のあらゆる所から集まっているのに、価値観とか、悩み方とか、同じなのがおどろきです。希望がもてます。専門家も先生方も親も本人もみんなでがんばってきたんだろうと思います。

(大阪：父母)

* ⑤学校とのかかわり・学校づくり♪

色んな立場からのお話を聞くことが出来て、相談員のあり方について自分自身をふり返ることの重要性を改めて感じました。忙しい現場で、いかに先生方と親御さんたちの気持ちとつなげていくか…。

考えてみたいと思います。

(東京：相談員)



* ⑥青(成)年期をともに生きるA♪

暴力をふるっていた息子さんがお父さんに「ありがとう」とメモを渡したというお話を聞いてすごうれしかったです。

少しずつ少しずつ…ですネ。(埼玉：父母)



今日は 24 才の長男と参加させていただきました。長男は学校でのいじめ(小、中、高)と先生からでした。19 才の時、この先がないと思い、子どもの発信をしっかりと感じ取れる力が親になく、取り返しのつかない行動を取られてしまいました。4 年たちました。初めて親と 24 才の長男と初めての「お出かけ」(病院以外で)でした。親と子といっしょに学ばせていただきました。これから今日を新たな出発として。「命」さえあればいいと思うようになったのがおそすぎ時間がかかりすぎたと思っています。止まることなく前に進んで行く「力」を学ぶことができました。ありがとうございました。(埼玉：父母)

* ⑥青(成)年期をともに生きるB♪

参加してよかったあ！
いろんな立場の人たちと語れて私自身でいいんだあって、改めて確かめられた気がします。
これからも学ぼ！

今日、ここに来て良かった。
いろいろな事に気づけ、つながりが出来た。これは宝物。ありがとう。(埼玉)

* ⑧居場所とはA♪

分科会参加者一同で午後休みに、ギャラリーを見に行きました。全員では初めての事です。詰めた話の重い空気がホットしました。皆んなで見に行き、わいわいと話し、これも又楽しい一時でした。

(東京：父母)



* ⑧居場所とはB♪

居場所にお手本はないのだ、ということあらためて考えさせられ気づかされた分科会でした。できることから、つながりながら、あきらめずに思いつづけていくことなのだと感じました。(父母)

* ⑦ **さまざまな進路・自立に向かって♪**

今まで、考えてもこなかったような意見や悩みを聴くことができ、また、自分も今まであまり人に言ったこともなかったようなことを言うことができよかったです。初めての参加でしたが、また、来れると良いなと感じました。(兵庫：青年)

「失敗したらまたやり直せばいいよ、失敗をおそれるな！！」とお子さんに言ってあげればいい、それは親にも言えることだよ。この言葉が今日はとても一番胸にストーンとおちた言葉でした。



元当事者の方の話を聞いて参考になった。

「心配してよりそってくれるのはうれしいが、的はずれ」

「お母さんが元気で楽しくしてくれるのが一番いい」←ちょっとうれしい。

(埼玉：父母)

* ⑨ **親・家庭の役割と家庭づくり♪**

いつも、時間制限があって、話すテーマが決められていて、焦りながら考えをまとめて短くしゃべる…という討論会ばかりやってきました。なんでもいま自分の考えてること、悩んでいること、聞いてほしいこと、訊きたいこと、話したいだけ存分に話す、という会のもち方に新鮮な衝撃を受けました。

こういう場があるとなしで、ずいぶんちがってくるかも…(千葉：元当事者)

何でこんなに涙が出るのだろう。普段の生活で涙を流すことは、皆無なのに！自分の思いを話せる場、その話を、受けとめてもらえる場、この“つどい”本当にありがとう。お父さんの参加が少しずつ増えてはいるが、まだまだ少ない。お父さんたちよ、この“つどい”は本音で話せるゾ！ここでは、みなそのまま受けとめてもらえるゾ。又、来年も参加しなきゃだめかな。(北海道：父母)

* ⑩ **手をつなぐ輪を広げて♪**

簡単にコトバにならないくらいすごい充実した2日間、最高の「つどい」でした。(京都：父母)





* ⑪医療・福祉とのかかわり♪

今、精神科に入院中の高校2年生の娘。
北林先生のお話をきいて、今回の入院は娘にとって必要なこと。
信じて、治療に専念しようと思いました。
医療、教育、福祉のネットワーク作りに私も積極的に参加し、学んでいきたいと
思います。(東京：父母)

* ⑫登校拒否・不登校と「非行」♪

今日は自分の育ちや家族との関係のことも話して聞いてもらって、あたたかく聞いてもらえ
たことで、すーと楽になる感じがしました。弱みや悩みも合わせて出せる場所はどんな人に
とっても大切だなと感じ、少しいつも親の会で話してここにくると楽になるとおっしゃって
いる親の方たちの気持ちがわかった気がしました。(学生)

元教員をしていましたが、現職の時、このような話をお母さんたちから聞いていたら、もっ
と充実した教育ができたのではと思いました。現職の先生方、ぜひ、この会に入ってお母さ
んたちと語り合ってください。(埼玉：元教員)

* 父親交流会♪

今年のつどいは父親の参加者が
多いのにびっくりしています。
日頃の親の会は父親はほとんど
参加してくれません。
日頃あまり想いをしゃべらない
父親なのによくしゃべるのに
おどろきました。
信じてまとうよ、私も仲間だよ。
(和歌山：父母)



* 青年交流会♪

青年の交流会に参加しました。
同年代にもたくさんの状況で生きてきた方が
たくさんいらっしゃって、お話する中で感じる
ことがたくさんありました。初めて参加して、
これだけたくさんの収穫があったのは本当に
幸せだと思います。
貴重な機会を本当にありがとうございました。
(東京：青年)

* ひろば♪



ちょーちょーちょーたのしかった！！
(東京：青年)

